指導案の概要: Pythonで学ぶプログラミング入門

アシアル株式会社

|  |  |
| --- | --- |
| 授業時間数 | 6〜8時間 |
| 主な学習活動 | * ペア/個人作業   + プログラミング |
| 指導と評価の重点 | * 問題を解くアルゴリズムを考え、表現することを通じて、思考・判断・表現の観点で指導と評価を行う。 |
| 学習に使用する教材・教具 | * Monaca Education（プログラム開発ツール） |
| 使用する記録方法 | * プログラムファイルの提出 |
| 評価方法 | 【知識・技能】   * プログラム言語の基本的な文法・機能のうち、３つの制御構造（順次、分岐・選択、繰り返し）、変数、配列、関数を用いた簡単なプログラムを作成できる。   【思考・判断・表現】   * 順次、分岐・選択と繰り返しを組み合わせたアルゴリズムを、プログラムとして表現することができる。   【態度】  本単元は、知識・技能、および思考・判断・表現の習得に集中しているため、態度の評価は他単元の様子と合わせて記録・評価するとよい。 |
| 備考 | 「態度」については、「コンピュータとプログラミング」の他の小単元（例：アルゴリズム）と合わせて評価する方法が考えられる。 |